



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社日本ケアサプライ 上場取引所 東
 コード番号 2393 URL <https://www.caresupply.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高崎 俊哉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 栃木 清一郎 TEL 03-5733-0381
 四半期報告書提出予定日 2021年1月29日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,526	9.6	2,126	32.1	2,141	32.4	1,407	33.9
2020年3月期第3四半期	14,170	9.1	1,609	△2.7	1,617	△2.4	1,051	△3.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,420百万円 (36.8%) 2020年3月期第3四半期 1,038百万円 (17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	90.61	—
2020年3月期第3四半期	67.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,745	14,280	68.8
2020年3月期	18,032	13,574	75.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,274百万円 2020年3月期 13,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	46.00	46.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	8.9	2,500	16.0	2,500	15.5	1,750	17.1	112.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年1月29日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	16,342,400株	2020年3月期	16,342,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	804,512株	2020年3月期	804,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	15,537,903株	2020年3月期3Q	15,537,953株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が著しく制限され、景気は急速に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後には持ち直しの動きがみられるものの、全国的な感染症の再拡大により、再び予断を許さない厳しい状況が続いております。

介護保険制度の福祉用具貸与におきましても、感染防止の観点などから、計画の作成やモニタリング等については、電話・メールなどを活用するなどにより、柔軟に対応することが可能となりました。一方、社会保障審議会介護給付費分科会では、2021年介護報酬改定に向けて、①退院・退所時のスムーズな福祉用具貸与の利用、②福祉用具の安全な利用の促進、③福祉用具貸与価格の上限設定の見直し等について、議論がなされております。

このような環境のもと当社グループは、役職員の日々の感染予防、健康管理の強化、職場における感染拡大防止策を講じるなどの対策を行い、福祉用具や食事サービスの安定供給を通じて、卸の立場ながらライフラインとしての役割を担うため、事業の継続に努めてまいりました。

福祉用具レンタル卸においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、営業活動に制限があったものの、オリジナルカタログ制作をはじめとする様々な事業者支援策を通じて、受注拡大に努めました。特に、新たな事業者支援策として6月から開始したオンラインセミナー「グリーンケアフォーラム」については好評を博しており、12月までに全7回開催し新たなスタンダードとなりつつあります。

食事サービスにおいては、新規営業活動に制限がある中、オンラインによる営業や試食会の開催に取り組むなど、新規利用者の獲得に継続して努めました。

生活支援物販においては、事業者向けECサイト「グリーンケアオンラインショップ」のキャンペーン実施により、受注拡大に努めました。

新たな事業に向けた取り組みとして、2020年12月にAI技術を活用したケアマネジメントサービスを提供する株式会社シーディーアイとの間で資本業務提携を行いました。両社の持つ経営資源を相互に活用することにより、付加価値の高いAIによるケアプランを広く浸透させることで、高齢者の自立支援の実現に貢献するとともに介護業界における業務効率化と生産性向上を図ります。また、同月において、三菱商事株式会社及び総合警備保障株式会社の3社による資本業務提携を行いました。それぞれの事業で培った知見やノウハウ、ネットワークを持ち寄ることで、被介護者・高齢者が地域で安全安心に、そして便利に日常生活を送ることができる仕組みを提供してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、レンタル・販売が堅調に推移し、売上高15,526百万円（前年同期比9.6%増）の増収となりました。

利益面では、売上拡大による人員増により人件費が増加しましたが、増収効果に加え、営業活動の制限の影響により経費支出の抑制が生じたため、営業利益2,126百万円（同32.1%増）、経常利益2,141百万円（同32.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,407百万円（同33.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,713百万円増加し、20,745百万円となりました。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金349百万円増加、レンタル未収入金211百万円増加、短期貸付金1,279百万円増加、固定資産のレンタル資産（純額）541百万円増加、投資その他の資産269百万円増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,007百万円増加し、6,465百万円となりました。主な要因は、流動負債の買掛金519百万円増加、レンタル資産購入未払金957百万円増加、賞与引当金126百万円減少、流動負債のその他に含まれる未払金375百万円増加等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ705百万円増加し、14,280百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,407百万円の計上による増加、配当金714百万円による減少、その他有価証券評価差額金11百万円増加等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の75.3%から6.5ポイント減少し68.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高については、福利用具レンタルが堅調に推移することが見込まれることから、概ね前回発表予想通りの見通しであります。利益については、売上高の増加に加え、レンタル資産の減価償却費及び修繕費用、人件費などが計画を上回りますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動の制限が当面続くと想定しており、経費支出の抑制が見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回る見通しとなり、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年1月29日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。今後の国内外の経済情勢、事業運営における状況の変化、見通しに内在する様々な要素や潜在リスク等の要因により、結果的に実際の業績が見通しと大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	611,262	616,649
受取手形及び売掛金	480,091	829,407
レンタル未収入金	2,074,172	2,285,649
有価証券	999,994	999,995
商品	29,117	33,768
貯蔵品	36,743	39,412
短期貸付金	2,345,353	3,624,780
その他	294,123	339,183
貸倒引当金	△9,587	△9,786
流動資産合計	6,861,272	8,759,059
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	8,241,666	8,783,471
その他(純額)	1,478,307	1,423,749
有形固定資産合計	9,719,973	10,207,220
無形固定資産	145,975	204,962
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,306,325	1,575,506
貸倒引当金	△850	△850
投資その他の資産合計	1,305,475	1,574,656
固定資産合計	11,171,425	11,986,840
資産合計	18,032,697	20,745,900

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	461,622	980,710
レンタル資産購入未払金	699,143	1,657,129
未払法人税等	407,570	422,420
賞与引当金	258,276	131,565
レンタル資産保守引当金	1,039,600	1,128,700
その他	561,605	1,050,639
流動負債合計	3,427,817	5,371,165
固定負債		
長期借入金	-	20,000
退職給付に係る負債	888,162	937,567
その他	141,880	136,666
固定負債合計	1,030,042	1,094,233
負債合計	4,457,859	6,465,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,897,650	2,897,650
資本剰余金	1,641,650	1,641,650
利益剰余金	9,418,398	10,111,547
自己株式	△414,915	△414,961
株主資本合計	13,542,783	14,235,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,312	30,261
為替換算調整勘定	963	635
退職給付に係る調整累計額	7,668	7,442
その他の包括利益累計額合計	26,944	38,340
非支配株主持分	5,109	6,274
純資産合計	13,574,837	14,280,501
負債純資産合計	18,032,697	20,745,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,170,322	15,526,687
売上原価	8,590,954	9,297,603
売上総利益	5,579,367	6,229,084
販売費及び一般管理費	3,969,388	4,102,921
営業利益	1,609,978	2,126,163
営業外収益		
受取利息	525	641
持分法による投資利益	4,266	7,331
補助金収入	2,320	6,588
その他	2,562	1,847
営業外収益合計	9,674	16,409
営業外費用		
支払利息	1,895	5
為替差損	1	930
営業外費用合計	1,896	935
経常利益	1,617,756	2,141,637
特別損失		
固定資産売却損	-	526
固定資産除却損	14,976	225
投資有価証券売却損	-	12,782
投資有価証券評価損	3,286	5,117
特別損失合計	18,262	18,651
税金等調整前四半期純利益	1,599,493	2,122,985
法人税等	546,487	713,926
四半期純利益	1,053,006	1,409,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,257	1,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,051,748	1,407,893

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,053,006	1,409,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,247	11,948
退職給付に係る調整額	△420	△226
持分法適用会社に対する持分相当額	△633	△327
その他の包括利益合計	△14,302	11,395
四半期包括利益	1,038,704	1,420,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,037,446	1,419,288
非支配株主に係る四半期包括利益	1,257	1,164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響については、現時点で入手可能な情報を基に検証等を行っております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確実性が大きく、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績への影響を注視する必要があるものと考えております。